

【瀬戸内町】伊須の田んぼでマコモ植え体験（伊須集落役員会）

日 時：令和5年3月28日

場 所：瀬戸内町伊須集落

対象者：嘉鉄小学校校区在住親子（子ども：10人 大人：22人）

内 容：伊須集落に残る昔ながらの田んぼ地で、島唄を味わいながら、マコモの田植え作業を体験する。かつての島の暮らしや、文化、人と自然の関わりを学ぶ。かつて島では協力し合いながら農作業（ゆい作業）をし、作業の時は、掛け合いで作業歌（イトウ）を歌っていたと聞く。里さんには、島唄や作業歌について教えていただき、作業中の田んぼで作業歌（イトウ）を歌っていただいた。



伊須の田んぼでマコモ植え体験～風景写真～



【伊仙町】島っ子ガイド学習会（阿権浜しぜん館）

日 時：令和4年9月23日

場 所：伊仙町立阿権小学校

対象者：阿権小学校全児童（子ども：14人 大人：10人）

内 容：阿権小学校が取組んでいる島っ子ガイド活動の支援策として、これまで島っ子ガイド学習会を複数回行ってきた。今回は、5・6年生が「ウミガメの来る浜」をテーマに環境学習をおこなっていることから、さらに学習の深みをもたせるため、海ごみで傷つき、片足を失ったアカウミガメが再び海に帰るまでの実話を絵本にしたウミガメリブ絵本製作実行委員会の代表である安部さんを島根県隠岐の島町より招聘し、子ども達との交流の機会を設けた。この取組をさらに発展させ、今後の子ども学芸員育成につなげていくとともに、隠岐での環境教育報告会に参加し、子ども達の感想画を照会した。



【徳之島町】海岸清掃環境教育（金見あまちゃんクラブ）

日 時：令和5年2月26日

場 所：金見埼灯台及び金見長浜

対象者：嘉鉄小学校校区在住親子（子ども：58人 大人：149人）



内 容：島内から児童生徒をはじめ、保護者や地域住民207人の参加。エコツアーガイドの説明を聞きながら漂着したペットボトルや漁具、発泡スチロールなどを拾い、普通トラック10台分、軽トラック5台分のごみを回収した。これだけの大量のごみが流れ着いていることに、子ども達も徳之島の環境問題について改めて考える機会となった。



【伊仙町】点々で宝の地図を描く！（徳之島ゲストハウスみち）

日 時：令和4年9月23日

場 所：茶処あがりまた

対象者：未就学児童から中学生及びその保護者（子ども：12人 大人：8人）



内 容：「点々で宝の地図を描く！」というタイトルで、主に子どもを対象とした絵画作品制作のワークショップを実施。オーストラリア先住民の作る「アボリジナル・アート」を現地で学んだ経験を持ち、徳之島の登録エコツアーガイドでもあるのせたかこ氏を講師として招聘。「徳之島にある宝物（動物や植物、風景など）」を、「アボリジナル・アート」の特徴とされる点描表現を用いて、点を打つという誰でもできる表現手法を用い、「宝物を探す」という普段とは異なる視点で島を見つめ直し、島では当たり前にある自然や風景の魅力を再発見。クロウサギ観察小屋を有し、「クロウサギの里」として知られる天城町・当部集落を会場に、島の希少な動植物をより身近に感じていただいた。ここで制作した作品は、東京で開催される子どものアート作品展「できる。できない。じゃない！やってみるんだ！展」に出品し、世界自然遺産の島として徳之島をアピールした。



【伊仙町】コウモリ生息地自然観察（徳之島虹の会）

① 日 時：令和5年1月20日

場 所：伊仙町立伊仙小学校

対象者：島内の小学生から中学生と教職員・保護者（子ども：50人 大人：5人）

② 日 時：令和5年1月22日

場 所：天城町秋利神

対象者：島内の小学生から中学生と教職員・保護者（子ども：14人 大人：17人）



内 容：アマミノクロウサギをはじめとした、徳之島に生息している野生の哺乳類は現在12種類であるとされているが、その半数である6種類をコウモリが占めている。離島地域にこれだけの種数が生息していることは世界的にも稀であり、中には絶滅危惧種として記載されている種もある。しかし、このことは未だ広く周知がされておらず、島民でも認定エコツアーガイドなど一部の有識者が知るのみとなっている。そのため、特に児童・生徒を対象とした島民への知識の共有と、それによる環境保護意識の醸成を目的として、哺乳類学の専門家で、琉球大学にて長期にわたってコウモリの生態についての研究を進めてこられた伊澤雅子先生（琉球大学教授・北九州市立自然史・歴史博物館館長）を招聘し、島内の小学校での出前授業及び現地での自然観察会を実施した。

① 島内の各小学校に出前授業実施のお知らせを配布し、応募のあった学校の中から、時間の都合のつく学校を選定。伊仙小学校・喜念小学校・鹿浦小学校の児童に合同で出前授業を実施した。



② コウモリの生息地で自然観察会を実施。午前には島内の認定エコツアーガイドが現地を下見、午後からは伊澤先生を交えて、事前に募集し参加申し込みのあった一般参加者と観察会を実施した。



【和泊町】漂着物について（コンチダホテル）

日 時：令和4年12月3日

場 所：コンチダホテル

対象者：沖永良部島の小学生（子ども：5人）

内 容：荒天の為、座学のみ。西村奈美子先生による奄美群島で拾える海洋漂着物の紹介。漂着物はどこからどのように流れてくるのか？漂着物の分類ゲームなど。浜に下りれなかった為ビーチクリーンができず、松瀬氏には個人で毎日行っているビーチクリーンの内容や、ビーチクリーンでの注意点、浜に生息する危険な動植物についてのお話をしていた。

ビーチコーミング&ビーチクリーン

日 時：令和4年12月4日

場 所：西原の海

対象者：沖永良部島の未就学児～中学生

（中学生：16人 大人：5人）

内 容：西村奈美子先生による奄美群島で拾える海洋漂着物の紹介。漂着物はどこからどのように流れてくるのか？ビーチコーミングとは何か？種の不思議など様々なお話をしていた後に西原の浜へ。浜では座学で紹介された漂着物を実際に探す。その後、参加者全員によるビーチクリーンを松瀬氏に主導してもらった。



12月3日（土） 10時から12時



12月4日（日）

10時：座学 11時：ビーチコーミング&ビーチクリーン



第1回
ビーチコーミング

12/4
日ようび

8:45 受付開始 12:30終了 参加費：無料
コンチダホテル駐車場 集合 定員の
小学3年生～高校3年生 先着約20名
小学3年生～3年生は保護者の付き添いで参加
児童の参加可

とっせん
突然ですが
クイズです!

Q.これなーんだ?

ヒントのてがかりは
“ビーチコーミング”

ビーチコーミング
海岸などに打ち上げられた漂着物を観察したり集めたりすること。

エラワの海岸であつげよう

ビーチクリーンをしながら
いろんな漂着物を観察します

予約方法

このアカウントへDMをお送りください

- ・参加者のお名前
- ・お子さまの学年
- ・保護者様の連絡先

定員に達し次第締め切ります

阿波赤しぜん館監修

講師 **西村 奈美子**さん

曾之島に転居して約10年。以前は十九歳で奄美群島からの学芸員。現在は海辺を歩き、不思議な生き物やおもしろい漂着物を探って、子どもから大人まで多くの方へ発信しています。